

日興エドモン・ドウ・ ロスチャイルド・ ラグジュアリーファンド 【運用報告書(全体版)】

(2023年6月27日から2024年6月26日まで)

第 **11** 期
決算日 2024年6月26日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、欧州のラグジュアリー株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2013年6月27日）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、欧州のラグジュアリー株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド 欧州のラグジュアリー株式 マネー・オープン・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、欧州のラグジュアリー株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ■運用は、ラグジュアリー株式への投資に強みを持つエドモン・ドウ・ロスチャイルド・アセット・マネジメント（フランス）が行います。 ■実質組入外貨建て資産に対しては、原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年1回（原則として毎年6月26日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		公 社 債 率	投 資 信 託 入 率	純 資 産 額
		税 分 配 込 金	騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
7 期(2020年 6 月26日)	10,896	200	△13.4	0.2	96.5	2,231
8 期(2021年 6 月28日)	17,148	200	59.2	0.3	100.7	8,910
9 期(2022年 6 月27日)	14,829	200	△12.4	0.2	98.1	17,244
10期(2023年 6 月26日)	19,589	200	33.4	0.3	96.0	9,537
11期(2024年 6 月26日)	21,062	200	8.5	0.3	97.1	7,057

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率	投 資 信 託 入 率
		騰 落	率		
(期 首) 2023年 6 月26日	円		%	%	%
	19,589	—	—	0.3	96.0
6 月末	20,002		2.1	0.3	97.1
7 月末	20,007		2.1	0.3	96.9
8 月末	20,286		3.6	0.3	98.5
9 月末	17,845		△ 8.9	0.3	98.5
10月末	17,574		△10.3	0.3	98.4
11月末	18,465		△ 5.7	0.3	98.6
12月末	18,666		△ 4.7	0.3	97.7
2024年 1 月末	19,198		△ 2.0	0.3	97.5
2 月末	21,392		9.2	0.3	98.7
3 月末	21,491		9.7	0.3	97.4
4 月末	21,299		8.7	0.3	97.5
5 月末	21,134		7.9	0.3	98.4
(期 末) 2024年 6 月26日	21,262		8.5	0.3	97.1

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2023年6月27日から2024年6月26日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	19,589円
期末	21,062円 (既払分配金200円(税引前))
騰落率	+8.5% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2023年6月27日から2024年6月26日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として欧州のラグジュアリー株式^{*}に投資しました。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

※ラグジュアリー株式とは、高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式をいいます。

上昇要因

- 世界的な需要拡大を背景に、ラグジュアリー銘柄が上昇したこと
- 内外金利差が意識されたことを背景に、米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で上昇したこと

下落要因

- 中国における景気減速などを背景に、一部のラグジュアリー銘柄が下落したこと

投資環境について(2023年6月27日から2024年6月26日まで)

欧州株式市場、およびラグジュアリー株式は上昇しました。為替市場では、ユーロは対円で上昇しました。

欧州株式市場

期初は、ECB(欧州中央銀行)の利上げに対する警戒感が薄れたことから上昇しました。その後、ECBの利上げ実施や米国株の調整を受け軟調な展開が続きましたが、年末にかけて世界的な長期金利の低下や利下げ期待の高まりとともに、景気への見方が改善し、上昇しました。

年明け後も長期金利の低下や利下げ期待の高まりに加えて、米国株の上昇もサポート要因となり、堅調な動きとなりました。4月には米国の利下げ開始時期の後ろ倒し観測や地政学リスクの高まりが意識されて下落する場面もありましたが、期末にかけてECBの利下げ観測や好決算が投資家心理を支え、上昇しました。

ラグジュアリー株式は、中国での消費鈍化などによって銘柄間の格差が見られる場面はありましたが、期を通して上昇しました。

げを実施し、その後も高金利環境を維持したため日欧の金利差が意識されました。

為替市場

期末のユーロ・円は、期初と比較してユーロ高・円安となりました。ECBが期初に利上

ポートフォリオについて (2023年6月27日から2024年6月26日まで)

当ファンド

「ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」および「マネー・オープン・マザーファンド」を主要資産対象とし、「ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」の高位組入れを維持しました。

ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド

高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式を中心に組入れを行いました。

個別銘柄

中国での消費鈍化の影響を大きく受けた銘柄と、その中でも選ばれた銘柄や、その他の地域で売上げを拡大した銘柄で株価が二極化しました。

個別銘柄では高級革製品、衣料品メーカーのプラダ、高級スポーツカーメーカーのフェラーリの保有がプラス寄与しました。一方、高級ファッションブランドのバーバリーは中国と米国の売上げ低迷を受けて株価が下落し、マイナス寄与しました。

マネー・オープン・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2023年6月27日から2024年6月26日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2023年6月27日から2024年6月26日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第11期
当期分配金 (対基準価額比率)	200 (0.94%)
当期の収益	200
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	11,061

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」および「マネー・オープン・マザーファンド」を主要資産対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行う方針です。

ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド

高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式を中心に投資します。ポートフォリオで保有する企業は、今後も魅力的な業績成長を維持することが期待できます。

イノベーションや品質、販売ネットワークの選別的な拡大などが業績の拡大を支えることに加え、伝統や強いブランドを背景に価格決定力を持っており、世界各地での消費者の購買力の高まりから、安定した収益成長が期待できる銘柄群との考え方に変わりはありません。強固なバランスシートを持ち、株主還元積極的に企業を引き続き選好します。

マネー・オープン・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

- 信託期間を無期限とすることに伴い、信託約款に所要の変更を行いました。

(適用日：2023年9月22日)

日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド

1万口当たりの費用明細 (2023年6月27日から2024年6月26日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	238円	1.199%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は19,832円です。
(投信会社)	(59)	(0.297)	投信会社: ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(172)	(0.869)	販売会社: 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(7)	(0.033)	受託会社: ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税: 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.007	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査費用: 監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他: 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	239	1.206	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

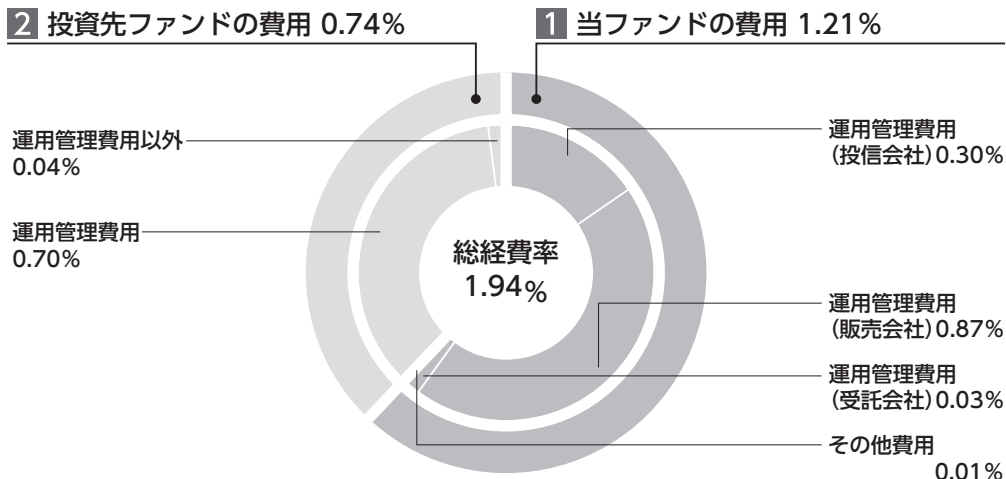
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率 (1 + 2)	1.94%
1 当ファンドの費用の比率	1.21%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.70%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

- ※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- ※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、投資先ファンドのデータをもとに委託会社が計算した経費率です。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- ※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.94%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2023年6月27日から2024年6月26日まで)

投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国 内	ヨーロピアン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド	10,997	305,000	125,432	3,228,000

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年6月27日から2024年6月26日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2023年6月27日から2024年6月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2024年6月26日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組入比率
	口	口	千円	%
ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド	357,277.823	242,842.623	6,852,290	97.1
合 計	357,277.823	242,842.623	6,852,290	97.1

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
マネー・オープン・マザーファンド	29,982	29,982	29,889

※マネー・オープン・マザーファンドの期末の受益権総口数は34,639,640口です。

■ 投資信託財産の構成

(2024年6月26日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	6,852,290	95.0
マネー・オープン・マザーファンド	29,889	0.4
コール・ローン等、その他	329,894	4.6
投資信託財産総額	7,212,073	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年6月26日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	7,212,073,581円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	266,894,222
投資信託受益証券(評価額)	6,852,290,293
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	29,889,066
未 収 入 金	63,000,000
(B) 負 債	155,042,863
未 払 収 益 分 配 金	67,012,447
未 払 解 約 金	44,815,859
未 払 信 託 報 酬	42,978,039
そ の 他 未 払 費 用	236,518
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	7,057,030,718
元 本	3,350,622,395
次 期 繰 越 損 益 金	3,706,408,323
(D) 受 益 権 総 口 数	3,350,622,395口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	21,062円

※当期における期首元本額4,869,032,356円、期中追加設定元本額663,309,895円、期中一部解約元本額2,181,719,856円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2023年6月27日 至2024年6月26日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 17,330円
受 取 利 息	46,327
支 払 利 息	△ 63,657
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	603,129,414
売 買 益	783,695,495
売 買 損	△ 180,566,081
(C) 信 託 報 酬 等	△ 92,663,821
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	510,448,263
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	837,899,636
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,425,072,871
(配 当 等 相 当 額)	(1,091,713,074)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,333,359,797)
(G) 合 計 (D + E + F)	3,773,420,770
(H) 収 益 分 配 金	△ 67,012,447
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	3,706,408,323
追 加 信 託 差 損 益 金	2,425,072,871
(配 当 等 相 当 額)	(1,091,714,679)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,333,358,192)
分 配 準 備 積 立 金	1,281,335,452

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	74,071円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	510,368,695
(c) 収益調整金	2,425,072,871
(d) 分配準備積立金	837,905,133
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	3,773,420,770
1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	11,261.85
(f) 分配金	67,012,447
1 万 口 当 た り 分 配 金	200

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	200円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド										
形態	ケイマン籍契約型投資信託（円建て）										
主要投資対象	欧州のラグジュアリー株式										
運用の基本方針	主として、高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。										
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ●純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ●非流動性資産への投資は、純資産総額の15%以下とします。 ●同一発行体に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーは、原則として、それぞれ純資産総額の10%以内、合計で純資産総額の20%以内とします。 										
分配方針	毎年6月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。ただし、分配を行わないことがあります。										
運用管理費用	<p>純資産総額に対して</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>運用報酬</td> <td>年0.55%</td> </tr> <tr> <td>受託会社報酬</td> <td>年0.01%（最低年15,000米ドル）</td> </tr> <tr> <td>管理費用</td> <td>年0.03%</td> </tr> <tr> <td>保管費用</td> <td>年0.04%</td> </tr> <tr> <td>事務代行費用</td> <td>年0.0625%</td> </tr> </table> <p>※年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>	運用報酬	年0.55%	受託会社報酬	年0.01%（最低年15,000米ドル）	管理費用	年0.03%	保管費用	年0.04%	事務代行費用	年0.0625%
運用報酬	年0.55%										
受託会社報酬	年0.01%（最低年15,000米ドル）										
管理費用	年0.03%										
保管費用	年0.04%										
事務代行費用	年0.0625%										
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>										
申込手数料	ありません。										
投資顧問会社	エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・アセット・マネジメント（フランス）										
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。										

以下には、「ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

■ 損益及び純資産変動計算書 (2023年6月30日に終了した期間)

(表示通貨：日本円)

収益	
受取配当金	182,413,068
その他収益	5,078
収益合計	182,418,146
費用	
投資運用報酬	76,946,857
管理事務代行報酬	8,728,208
保管報酬	5,590,933
管理報酬	4,196,251
専門家費用	2,160,149
保護預り手数料	2,148,224
受託会社報酬	2,086,367
印刷および広告費	1,630,356
弁護士費用	1,199,018
取引費用	826,109
銀行支払利息	153,604
登録費用	8,009
その他費用	753,558
費用合計	106,427,643
投資純損益	75,990,503
実現純損益：	
投資有価証券	1,623,382,156
外国為替	11,680,436
投資純損益および実現純損益	1,711,053,095
未実現損益の純変動額：	
投資有価証券	2,861,232,461
運用の結果による純資産の純増減額	4,572,285,556
資本の変動：	
受益証券設定	60,000,000
受益証券一部解約	(12,258,000,000)
資本の純変動額	(12,198,000,000)
期首純資産額	17,090,890,039
期末純資産額	9,465,175,595

日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド

■ 投資明細表 (2023年6月30日現在)

公認の証券取引所あるいは他の規制で運営される市場で譲渡可能な有価証券

種類	通貨	保有数	銘柄	帳簿価額 (単位: 円)	時価 (単位: 円)	比率* (%)
株式	EUR	36,203	BRUNELLO CUCINELLI SPA	215,257,728	457,165,374	4.83
	GBP	83,943	BURBERRY GROUP PLC	255,497,244	323,419,743	3.42
	EUR	2,555	CHRISTIAN DIOR SE	226,614,972	323,444,677	3.42
	CHF	19,953	CIE FINANCIERE RICHEMONT- REG	315,531,409	483,180,989	5.10
	GBP	47,464	DIAGEO PLC	235,427,073	289,343,970	3.06
	EUR	14,880	ESSILORLUXOTTICA	319,455,227	396,770,671	4.19
	EUR	13,964	FERRARI NV	362,146,105	654,394,029	6.91
	EUR	2,624	HERMES INTERNATIONAL	372,249,811	808,785,070	8.54
	GBP	51,636	INTERCONTINENTAL HOTELS GROUP PLC	369,216,848	509,656,613	5.38
	CHF	10,413	JULIUS BAER GROUP LTD	94,091,153	93,822,576	1.01
	EUR	1,962	KERING	167,781,653	155,195,888	1.64
	HKD	671,850	L' OCCITANE INTERNATIONAL SA	245,587,217	233,983,580	2.47
	EUR	9,587	L' OREAL	445,774,579	633,130,939	6.69
	EUR	5,873	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	452,949,297	789,750,903	8.34
	EUR	30,505	MERCEDES-BENZ GROUP AG	281,426,294	352,591,300	3.73
	EUR	62,472	MONCLER SPA	418,463,226	617,551,257	6.52
	CHF	22,338	NESTLE SA REGISTERED	313,427,570	384,625,670	4.06
	EUR	11,288	PERNOD RICARD SA	253,775,206	355,026,049	3.75
	HKD	491,214	PRADA SPA	350,222,090	476,718,715	5.04
	EUR	37,027	PUMA SE	399,032,964	311,519,711	3.29
	EUR	16,871	REMY COINTREAU SA	353,659,141	382,179,433	4.04
	EUR	25,293	SANLORENZO SPA AMEGLIA	155,104,595	153,134,941	1.62
	GBP	100,710	WATCHES OF SWITZERLAND GROUP	175,759,554	113,971,792	1.20
			株式合計	6,778,450,956	9,299,363,890	98.25
			公認の証券取引所あるいは他の規制で運営される市場で譲渡可能な有価証券合計	6,778,450,956	9,299,363,890	98.25
			投資有価証券合計	6,778,450,956	9,299,363,890	98.25

(*) 百分率で表示された純資産総額に対する時価の比率
(通貨)

EUR: ユーロ

CHF: スイスフラン

GBP: 英ポンド

HKD: 香港ドル

マネー・オープン・マザーファンド

第12期 (2023年3月2日から2024年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2012年7月27日)
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		公社債 組入比率	純資産 総額
		期中 騰落率		
	円	%	%	百万円
8期(2020年3月2日)	9,996	△0.1	74.9	75
9期(2021年3月1日)	9,987	△0.1	75.9	72
10期(2022年3月1日)	9,979	△0.1	76.9	61
11期(2023年3月1日)	9,976	△0.0	74.1	34
12期(2024年3月1日)	9,971	△0.1	74.0	34

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

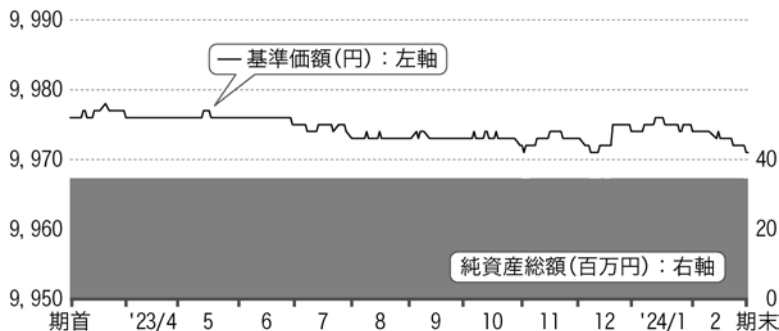
年月日	基準価額		公社債 組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2023年3月1日	9,976	-	74.1
3月末	9,976	0.0	74.1
4月末	9,976	0.0	91.5
5月末	9,976	0.0	91.4
6月末	9,975	△0.0	81.4
7月末	9,973	△0.0	81.3
8月末	9,973	△0.0	81.3
9月末	9,973	△0.0	74.1
10月末	9,972	△0.0	74.1
11月末	9,973	△0.0	74.0
12月末	9,974	△0.0	74.1
2024年1月末	9,974	△0.0	74.0
2月末	9,971	△0.1	74.0
(期末)			
2024年3月1日	9,971	△0.1	74.0

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2023年3月2日から2024年3月1日まで)

基準価額等の推移



期首	9,976円
期末	9,971円
騰落率	-0.1%

▶ 基準価額の変動要因 (2023年3月2日から2024年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2023年3月2日から2024年3月1日まで)

短期金利は上昇しました。

世界的に高水準のインフレが続いたことや、欧米中央銀行による利上げの継続を背景に円安が進行したことから、国内でも物価上昇率が高止まりし、CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）は前年比+2%以上での推移となりました。この間、日銀は市場機能への配慮や物価上振れリスクへの対応として、長期金利（10年国債利回り）の許容変動幅の事実上の上限引き上げを行うなど、イールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の運用を柔軟化しました。しかし、日

銀は賃金上昇を伴う形での物価目標の達成を目指すために、イールドカーブ・コントロールの枠組みは維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、欧米での金融不安の影響でリスク回避の動きが強まった2023年3月や、年末越え運用ニーズが高まった10月に、一時的に大きく低下する局面もありましたが、期を通じて概ねレンジ推移となりました。

▶ ポートフォリオについて (2023年3月2日から2024年3月1日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しの下、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2023年3月2日から2024年3月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

国内景気は足踏みしているものの、先行きはインフレ鈍化や賃金上昇が内需のサポートとなり、緩やかな回復基調に戻る見通しです。CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）の前年比伸び率は、政策効果によって+2%台に低下しており、先行きも輸入物価を起点とするコストプッシュ圧力の弱まりにより緩やかに減速基調が続く見通しです。日銀は賃金、物価上昇の好循環への確度が高まったタイミングでの政策変更を示唆しており、春闘の大勢が判明する春先に、マイナス金利解除を中心とした政策変更を実施する見込みです。

マイナス金利政策が解除されれば、短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りがプラスに転じると予想します。

マイナス利回りが継続する間は、引き続き、残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。また、プラス利回りに転じた際には、利子等の安定した収益の確保を目指して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細(2023年3月2日から2024年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.005% (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	0	0.005	

期中の平均基準価額は9,974円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2023年3月2日から2024年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 13,057	千円 － (6,500)
	特殊債証券	12,586	－ (19,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2023年3月2日から2024年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2023年3月2日から2024年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2024年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	13,000	13,034	37.7	—	—	—	37.7
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
特 殊 債 券 (除く金融債券)	12,500	12,526	36.3	—	—	—	36.3
	(12,500)	(12,526)	(36.3)	(—)	(—)	(—)	(36.3)
合 計	25,500	25,560	74.0	—	—	—	74.0
	(12,500)	(12,526)	(36.3)	(—)	(—)	(—)	(36.3)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
国 債 証 券	335 10年国債	%	千円	千円	
	337 10年国債	0.5000	6,500	6,519	2024/09/20
		0.3000	6,500	6,514	2024/12/20
	小 計	—	13,000	13,034	—
特 殊 債 券 (除く金融債券)	215 政保道路機構	0.6690	6,000	6,008	2024/04/30
	3 政保新関西空港	0.6440	6,500	6,517	2024/06/26
	小 計	—	12,500	12,526	—
	合 計	—	25,500	25,560	—

■ 投資信託財産の構成

(2024年3月1日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	25,560	74.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	8,979	26.0
投 資 信 託 財 産 総 額	34,540	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年3月1日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	34,540,585円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	8,952,766
公 社 債 (評 価 額)	25,560,923
未 収 利 息	25,775
前 払 費 用	1,121
(B) 負 債	106
そ の 他 未 払 費 用	106
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	34,540,479
元 本	34,639,640
次 期 繰 越 損 益 金	△ 99,161
(D) 受 益 権 総 口 数	34,639,640口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9,971円

※当期における期首元本額34,639,640円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額0円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド	29,982,011円
SMB C ・ 日興資産成長ナビゲーション	2,798,587円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(為替ヘッジなし)	1,589,191円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(限定為替ヘッジ)	269,851円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

- ・デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、信託約款に所要の変更を行いました。

(適用日：2023年9月22日)

■ 損益の状況

(自2023年3月2日 至2024年3月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	178,357円
受 取 利 息	181,262
支 払 利 息	△ 2,905
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△193,158
売 買 損 益	△193,158
(C) そ の 他 費 用 等	△ 1,595
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 16,396
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 82,765
(F) 合 計 (D + E)	△ 99,161
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	△ 99,161

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。